

蚊

に対する対策

～デング熱の感染もととなるヒトスジシマカにご用心！～

蚊は、刺されたら不快であるばかりでなく、いろいろな感染症を媒介するおそれがあります。

予防対策は、蚊を発生させないこと、蚊に刺されないようにすることです。

そのためには日頃からの対策が大切です。

蚊に刺されないように ～成虫対策～

屋外では

- 蚊の成虫は、風通しの悪い草むら、やぶ、木が密集しているところなどに多く集まります。定期的に草刈りや木の剪定をして、蚊がひそみにくくしましょう。
- 蚊の多い場所に行くときは、長袖シャツ、長ズボンなどを着用し、素足でのサンダルばきを避けるなど、肌を露出しないようにしましょう。
- 必要に応じて虫よけ剤（忌避剤）を使い、蚊を寄せ付けないようにしましょう。
※虫よけ剤は使用上の注意を必ず守りましょう。

屋内では

- 蚊取り線香、蚊取りマット、殺虫剤を使用しましょう。
※薬剤を使用する場合は、使用上の注意を必ず守りましょう。
- 戸の開閉を減らし、蚊が侵入しないようにしましょう。
- 網戸や防虫網を設置し、網戸の破れや窓枠の隙間等は補修しましょう。

主な蚊の種類



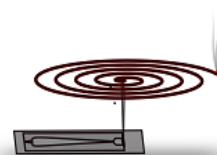
ヒトスジシマカ

5月頃から10月下旬頃まで活動します。主に昼間に活動し、移動範囲は狭く、ほんの小さな水たまりにも発生します。デング熱やチクングニア熱を媒介することがあります。



アカイエカ

冬季以外に活動します。主に夜間に活動し、移動距離は広く数kmに及ぶこともあります。人家周辺のやや汚れた水場によく発生し、屋内によく侵入します。ウエストナイル熱を媒介することがあります。



蚊を発生させないように ～幼虫対策～

蚊は水際や水面に卵を産み付け、幼虫（ボウフラ）やサナギのうちには水中で育ちます。蚊の発生源となる水たまりなどに対する対策が重要となります。

蚊の幼虫の発生しやすい場所



植木鉢の受け皿

放置された古タイヤ

空き缶

雨水ます

屋外の水生植物の容器

そのほか…

屋外の放置容器（空きビン、ペットボトル、バケツ、じょうろ など）、屋外に放置された子どものおもちゃ、排水溝、竹の切り株、雨よけのシートのくぼみ、詰まった雨どい、墓地の花立てなどにほんの少したまった水でも発生します。

蚊を発生させないためには

水が取り除ける場合

- 野ざらしで雨水のたまる容器や子どものおもちゃなどは、片付けるか逆さに伏せて水がたまらないようにしましょう。
- 放置された空き缶や空きビンなど不要なものはできるだけ片付けましょう。
- また植木鉢の受け皿の水はこまめに捨てましょう。
- 古タイヤにはシートをかぶせるか、雨のかからない場所に置きましょう。
- ブロックの穴などはコンクリートや土、充填剤などで埋めましょう。
- 雨よけシートなどは、たるんでくぼみができないようにしましょう。

水が取り除けない場合

- 防火水槽や排水ますなど、水を除くことができないものには、ふたをしたり防虫網を掛けたりして蚊が侵入しないようにしましょう。
- 防火水槽や庭の池は、金魚やメダカを放つとボウフラを食べてくれます。

蚊の駆除等についてのご相談・駆除の依頼については

一般社団法人奈良県ペストコントロール協会

電話：0742-23-7312

URL：<http://www.pestcontrol.or.jp/pcga/kinki/nara.htm>

※ 内容によっては有料となります。